



日本体育・スポーツ経営学会第 45 回大会

スポーツ文化の発展と体育・スポーツ経営学

1. 会期 2022 年 3 月 12 日 (土)
3 月 13 日 (日)

2. 会場・開催形式

(1)オンライン開催, Zoom

3. 大会テーマと主たる内容

(1)大会テーマ：スポーツ文化の発展と体育・スポーツ経営学

「スポーツは、世界共通の人類の文化」であることが明記され、スポーツが幸福で豊かな生活を営む権利として保障されたスポーツ基本法制定から 10 年が過ぎた。その間、共生社会、多様性、持続可能性、クリーン、フェアといった、我々の生活や生き方に関わる理念を含んだ、スポーツ基本計画のもと我が国のスポーツ振興が展開されてきた。現在、第 3 期スポーツ基本計画の諮問が行われ、第 2 期スポーツ基本計画の成果と課題を振り返る時期でもあるが、果たして、国民生活におけるスポーツの量的・質的充実はどの程度達成されただろうか。

スポーツ庁の調査によると、成人のスポーツ実施率の増加がみられ、スポーツへの無関心層が減っているとされている。また、2021 年に開催された東京オリンピック・パラリンピックで過去最高のメダルを獲得する等、国際競技力の向上がみてとれ、スポーツや文化を国家形成や経済成長の資源と捉える立場では一定の成果をあげているとみることができる。

他方で、国民生活に関するスポーツ状況には課題が残されているといえるだろう。というのも、先述の通り国民のスポーツの実施率は上昇してきているものの、そこで国民に実施されているスポーツは「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)」や「トレーニング」「階段昇降」等といった身体活動が中心で、運動競技やスポーツ活動の実施率は低調となっている。みるスポーツや支えるスポーツにおいても、実施率は横ばい、ないし下降傾向であり、スポーツへの多様なかかわり方が国民の生活の一部に組み込まれているとは言い難い。また、第 2 期スポーツ基本計画の柱であった障害者スポーツや女性スポーツの実施率も伸び悩んでおり、スポーツに関わる多様な機会や場の創出に課題が残っているといえる。

今大会は、第 3 期スポーツ基本計画で議論されている多様な主体の参画の実現にむけたスポーツ振興上のあり様をスポーツ文化の発展と捉え、幸福で明るく豊かな国民生活に向けた体育・スポーツ経営学の役割について考えていく。

基調講演およびキーノートレクチャーでは、地方・地域の生活とスポーツ・文化の関係の視点を組み込みながら理解を深める。地方・地域の生活とスポーツ・文化の関係の具体的な事例を通して、スポーツや文化が根付いたり、衰退したりするのはなぜか、そこでの体育・スポーツ経営学の役割や課題は何かについて考えたい。シンポジウムでは、今後のスポーツ振興の未来を見据えながら、多様な主体の参

画の実現のためのスポーツ振興上の成果と課題について議論する。

(2)基調講演

<テーマ> 地方体育史からみたスポーツ文化

<講師> 大久保英哲氏（金沢星稜大学女子短期大学部 学長）

地方にスポーツが根付くとはどういうことか、人、生活、スポーツの関係をどう捉えるか。スポーツ文化の普及、定着を考えるには、そこに住む人びとの生活や運動、スポーツに対する動機、地域社会の風土や歴史等に理解が欠かせない。基調講演では、大久保氏に、地方体育史の観点から、地方のスポーツイベントや文化が生み出され、定着していく事例を紹介していただく。そこから、地方や地域、我々の住む生活圏にスポーツが根付くとはどういうことなのか、そこでのマネジメント要因は何かについて考えたい。

(3)キーノートレクチャー

<テーマ> 創造都市論からみた文化と地域・生活

<講師> 佐々木雅幸氏（金沢星稜大学）

佐々木氏は、脱大量生産時代における人間の創造活動に基づいた都市づくりを創造都市論として展開し、都市に住む人々の文化と産業に関する創造性について研究されてきた。本レクチャーでは、創造都市論を紹介してもらいながら、今後の社会のあり様とスポーツ文化・文化の関係について考えたい。

(4)シンポジウム

スポーツ文化の発展と体育・スポーツ経営の役割

本シンポジウムでは、第3期スポーツ基本計画で審議され、2030年以降も見据えたスポーツ政策上の課題である多様な主体の参画の実現のためのスポーツ振興のあり様をスポーツ文化の発展と捉え、その現在地と課題について議論する。多様な主体の参画に必要なマネジメント要因に関する議論を通じて、スポーツ文化の発展とそれに果たすスポーツ経営の役割について理解を深める。

司会：横山剛士（金沢大学）、西村貴之（金沢星稜大学）

① スポーツ価値意識からみたスポーツ文化の特性

作野誠一氏（早稲田大学）

② 共生社会の実現とスポーツ文化：ドイツを事例に

奥田睦子氏（京都産業大学）

③ 多様な主体の参画によるスポーツ推進の課題：スポーツとジェンダーの観点から

來田享子氏（中京大学）

4. 大会日程

	全面オンライン (Zoom)
2022年3月12日 (土)	9:45~10:00 開会行事 10:00~12:00 学生・一般研究発表 13:30~14:30 基調講演

	14:45～17:00 シンポジウム 17:00～17:50 総会
2022年3月13日(日)	10:00～10:45 一般研究発表 11:00～12:00 キートートレクチャー 13:30～16:00 一般研究発表 16:15～16:30 閉会行事

* 申し込み件数などにより日程・時間の変更の可能性があります。

5. 大会への参加について

(1) 参加申し込み方法：WEB 参加申し込み

参加申し込みフォーム (<https://forms.gle/Wos4PcUAJ1PhFM62A>) もしくは右下の QR コードからアクセスしてください。オンライン参加の方法 (URL など) については後日連絡いたします。参加申し込みにあたっては (2) オンライン参加を選択してください。オンライン開催になりましたので、発表は、Zoom によるオンライン発表のみになります。

(2) 参加申込締切日：2022年1月31日(月)

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、オンライン開催とすることとしました。

オンライン開催

	形式	会場
大会参加・発表形式	オンライン	Zoom



(3) 参加費

大会参加費	正会員	3,000円
	学生会員	1,000円
	臨時一般会員	3,000円
	臨時学生会員	1,000円
抄録 (PDF版) のみの購入		1,000円

〈振込先〉

銀行名：北國銀行 杜の里支店 口座番号 (普通) 84866

口座名義：日本体育・スポーツ経営学会第45回大会

(4)振込締切日：2022 年 2 月 15 日（火）

(5)参考

【大会までのスケジュール】

事項	締切期日
大会参加申し込み	1月 31日（月）
学会発表申し込み	
大会参加費納入	2月 15 日（火）
発表抄録の提出	2月 28 日（月）

6. 研究発表について

(1)発表資格・内容など

2021 年（令和 3 年）度会費・大会参加費納入済の正会員・学生会員，大会参加費を納入済みの臨時会員が発表できます。

学生研究発表

発表内容は体育・スポーツ経営に関する研究であり，完結している研究に限ります。なお，筆頭演者の学部生につきましては，必ず指導教員による指導を受けた者とします（共同研究者として指導教員を含むようにしてください）。発表時間は，12 分です（質疑応答は行いません）。

一般研究発表

発表内容は体育・スポーツ経営に関する研究であり，完結している研究に限ります。なお，筆頭演者としての発表につきましては，一人 1 演題に限ります。発表形式は，発表時間 15 分，質疑応答 5 分，合計 20 分です。

(2)発表申込み

参加申し込みフォームから発表の申込みをしていただき，期日までに抄録を提出してください。

オンラインの場合

発表形式は，オンラインのみとなります。抄録（2 ページ）を提出してください。

(3)抄録の提出

抄録は，「抄録発表原稿の作成要領」に従って作成し，2 月 28 日(月)までに大会事務局へ電子メールに添付して提出してください。

7. 大会事務局・実行委員会

920-1192

石川県金沢市角間町 金沢大学人間社会研究域学校教育系 横山剛士

TEL : 076-264-5570 携帯 : 090-1847-6322 E-Mail : tyokoyama@staff.kanazawa-u.ac.jp

第45回大会 実行委員会

実行委員長	横山剛士 (金沢大学)
副実行委員長	藤谷かおる (金沢大学)
副実行委員長	櫻井貴志 (金沢星稜大学)
実行委員	西村貴之 (金沢星稜大学)
実行委員	神野賢治 (富山大学)
実行委員	作野誠一 (早稲田大学)